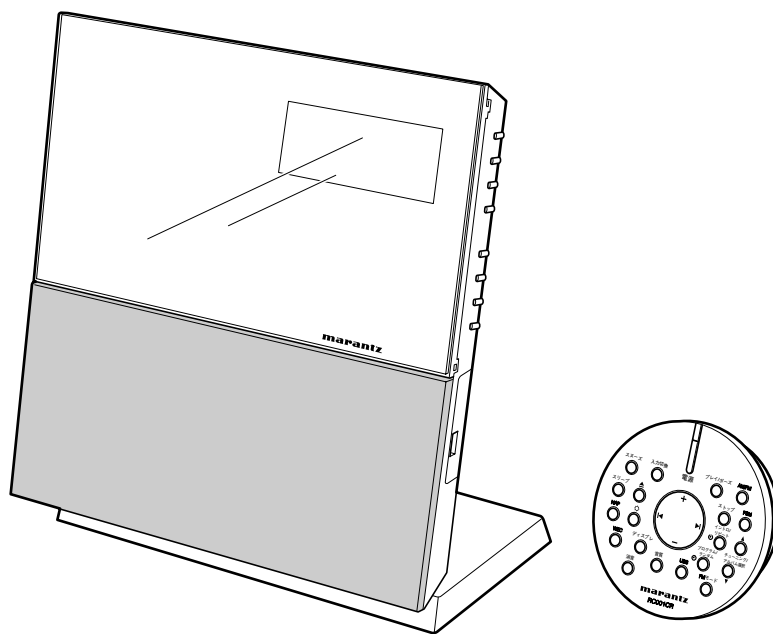
marantz®

Model CR201 取扱説明書

Personal CD System

CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などがありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社各営業所／サービスセンターにお問い合せください。

目　次

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告

電源プラグを
コンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

警 告

水場での使用禁止

● 風呂場等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
● この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。
ーこの機器をあお向けや横倒しし、逆さまにする。
ーこの機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
ーテーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

● この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
● 直射日光が当たる場所には置かないでください。火災・故障の原因となることがあります。
● 電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより火災の原因となります。

接触禁止

● 雷が鳴り出したら、電源プラグや接続ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

分解禁止

● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注 意

- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス＋とマイナス－の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。
- 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードは使用しないでください。

指のケガに注意

手を
挟まれないよう注意

- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜く

- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス＋端子とマイナス－端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- この機器の上に5kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

注意

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- 長期間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池室についた液をよく拭き取ってから新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- テーブルや家具などの高い場所に設置するときは転倒防止策を行ってください。

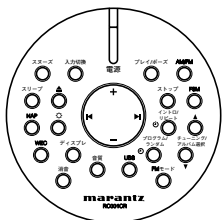
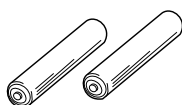
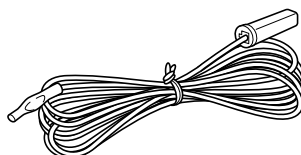
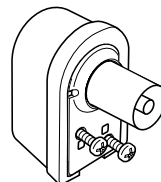
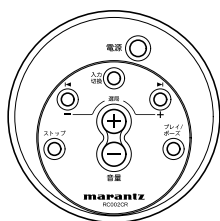
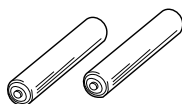
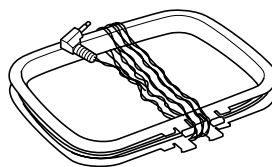
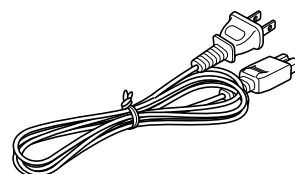
結露現象について

本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房をいれた直後には、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1〜2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

ご使用の前に

付属品の確認

下記の付属品がそろっていることを確認してください。

- ● メインリモコン(RC001CR) ×1

- ● 単四乾電池×2 (RC001CR用)

- ● FMワイヤーアンテナ×1

- ● FMアンテナアダプター×1

- ● 簡易リモコン (RC002CR)×1

- ● 単四乾電池×2 (RC002CR用)

- ● AMループアンテナ×1

- ● 電源コード×1

- ● 取扱説明書(本書)×1
- ● 保証書 ×1

ご使用上の注意

❑ 本機について

- ● 本機は、音楽用CD(コンパクトディスク)、MP3/WMAフォーマットに圧縮したデータファイルの再生専用オーディオプレーヤーです。パソコン用のCD-ROMや、ゲームCD、ビデオCD、DVDなどは再生できません。
また、チューナーを内蔵しており、お好みのラジオ番組を聴くことができます。

❑ 電源コードの取り扱い

- ● 濡れた手で触れないでください。
- ● 電源コードは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを強くひっぱたり、折曲げたりしますと、コードがいたみ、感電や火災の原因になります。

❑ 使用するときの注意

- ● CD(コンパクトディスク)やMP3/WMAは、アナログ式レコードに比べ非常にノイズが少なく、演奏が始まるまでノイズはほとんど聞き取れません。本機の音量を上げすぎますとスピーカーを破損することがありますので、ご注意ください。

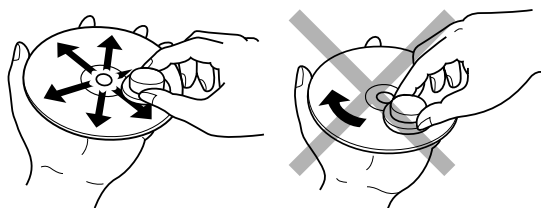
❑ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮(思いやり)を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ディスクの取り扱い

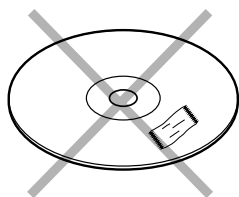
❑ ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。

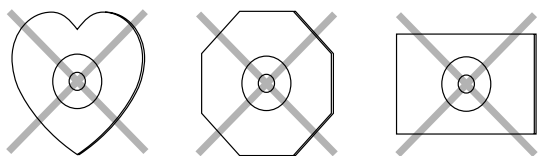
❑ ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面をふく時は必ず専用のクリーナーを使用して図のようにふいてください。

- 放射状方向にふいてください。

- 円周方向にはふかないでください。

❑ ディスクのレーベル面に紙やシールを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

❑ 特殊な形のディスクは使用しないでください。

ハート型、八角形、名刺型など特殊形状のディスクは使用しないでください。取り出せなくなったり、機器の故障の原因となることがあります。

❑ ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などかかるおそれのある場所

ディスクはディスク用ケースに入れて正しく保管しましょう。

再生できるディスク

本機では、下表のディスクが再生できます。
下表以外のディスクは再生しないでください。

再生できるディスク	マーク（ロゴ）	ディスクの大きさ
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	12cm／8cm盤
CD-R	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc Recordable	12cm／8cm盤
CD-RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable / COMPACT disc ReWritable	12cm／8cm盤

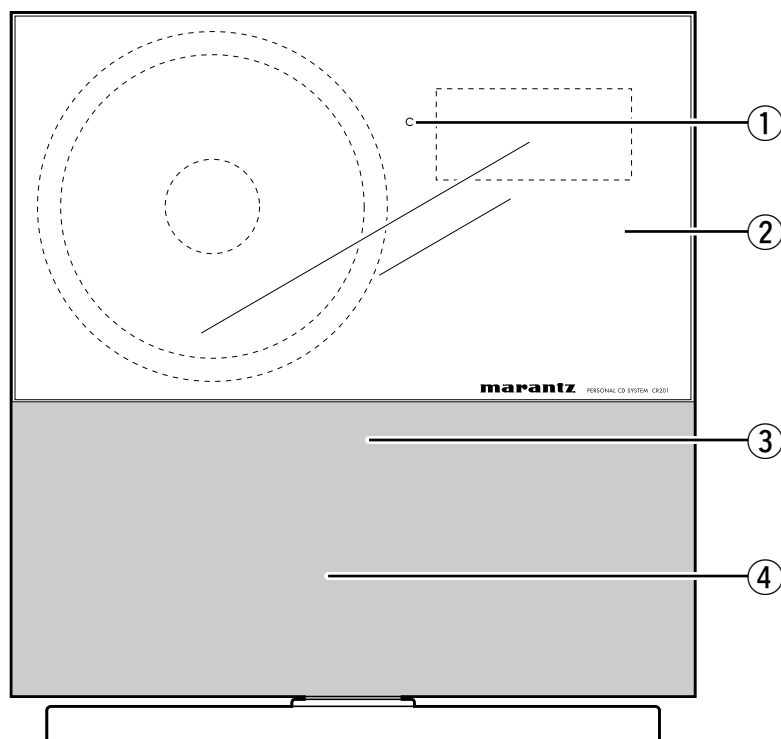
注意

- **CD-R／CD-RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。**
- **8cmアダプター（音楽CD用）は使わないでください。**

コピーコントロールCD（コピーガード付CD）について

コピーコントロールCD（コピーガード付CD）は、現在のCD規格に準拠していない特殊なディスクであり、当社としましては、お客様のCD再生機器による再生の状態を保証致しかねます。
通常CDを用いての再生時には支障なく再生ができ、これらの特殊ディスク再生時においてのみ支障をきたす場合につきましてはお客様のCD再生機器の不具合ではございません。
なお、コピーコントロールCDに関する詳細につきましてはコピーコントロールCDの発売元にお問い合わせ戴きますようお願いいたします。

各部の名称

正面

① **スタンバイインジケーター**

待機状態のときは赤色点灯、電源オンのときは消灯します。

② **CDドア（☞ P.22）**

▲（オープン/クローズ）ボタンを押し、ドアを開けて、音楽CD（ディスク）を入れてください。

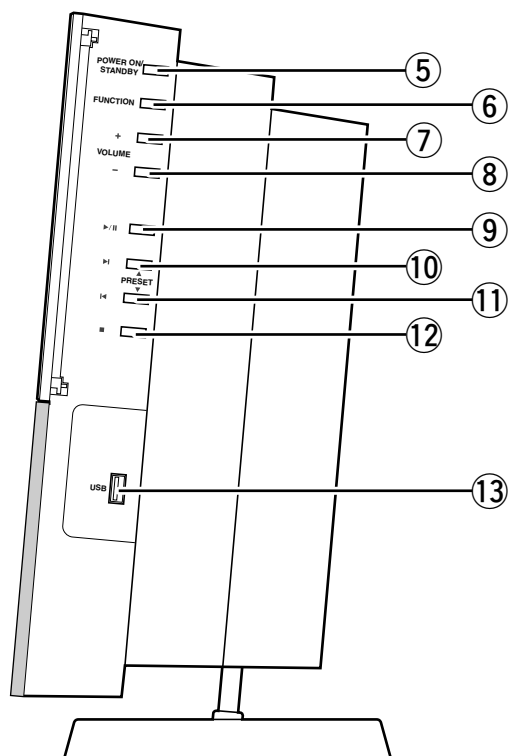
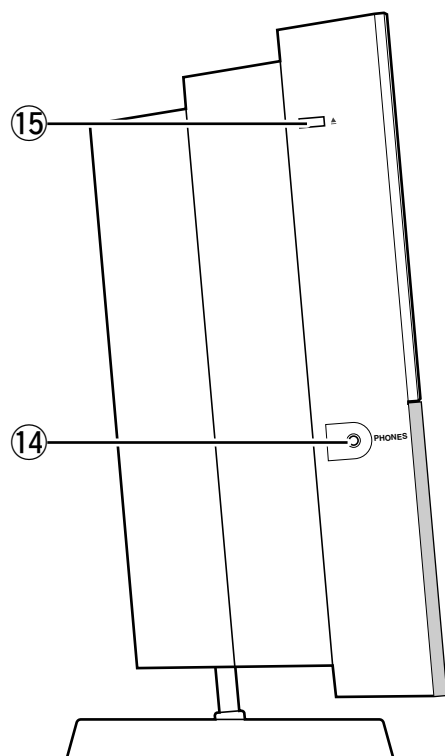
注意

- ドアは右側に約15cmスライドします。設置する際、本機の右側15cm以内には障害物を置かないでください。
- CDを再生しているときは、ドアを手で開けないでください。プレーヤーの故障の原因になります。
- ▲（オープン/クローズ）ボタンを押して、ドアを開けたままの状態にしておくと、ドアは約120秒後に閉まります。ディスク挿入時に、指をはさんだり、ディスクにキズをつけないように注意してください。

③ **リモコン受光部**

リモコンからの赤外線信号を受信します。

④ **フロントスピーカーグリル**

側面

⑤ POWER ON/STANDBY（電源オン／待機状態）ボタン（☞ P.20）

このボタンを押すと電源が入ります。もう一度押すと待機状態になります。

⑥ FUNCTION（入力切換）ボタン（☞ P.22、28、29、30）

このボタンを押すたびに、CD、USB、AUX、TUNERの順番で音源の入力モードを切り替えます。

⑦ VOLUME＋（音量調節）ボタン（☞ P.20）

このボタンを押すと、音量が大きくなります。

⑧ VOLUME－（音量調節）ボタン（☞ P.20）

このボタンを押すと、音量が小さくなります。

⑨ ►II（再生／一時停止）ボタン（☞ P.23）

このボタンを押すと、装着したCD、USBメモリーを再生します。また、再生中にこのボタンを押すと、再生を一時停止します。

⑩ ►I（次曲選択／早送り）、PRESET▲ボタン

＜CD、USB再生状態のとき＞（☞ P.23）
このボタンを押すと、押した回数だけ次曲に進みます。このボタンを押し続けると、再生中の曲を早送りします。

＜ラジオ状態のとき＞（☞ P.31）
このボタンを押すと、記憶させた放送局のプリセット番号が上がります。

⑪ I◄（前曲選択／早戻し）、PRESET▼ボタン

＜CD、USB再生状態のとき＞（☞ P.23）
このボタンを押すと現在再生中の曲の頭に戻ります。さらに続けて押すと、押した回数だけ前の曲に戻します。このボタンを押し続けると、再生中の曲を早戻しします。

＜ラジオ状態のとき＞（☞ P.31）
このボタンを押すと、記憶させた放送局のプリセット番号が下がります。

⑫ ■（停止／削除）ボタン

＜CD、USB再生状態のとき＞（☞ P.23、26）
このボタンを押すと、再生を停止します。また、曲順指定再生を取り消すときに、このボタンを押します。

＜TUNER、CD、AUXモードのとき＞
このボタンを5秒以上押すと、待機状態になり、時計、タイマー、記憶した放送局の全てが消去されます。

⑬ USB端子（☞ P.16）

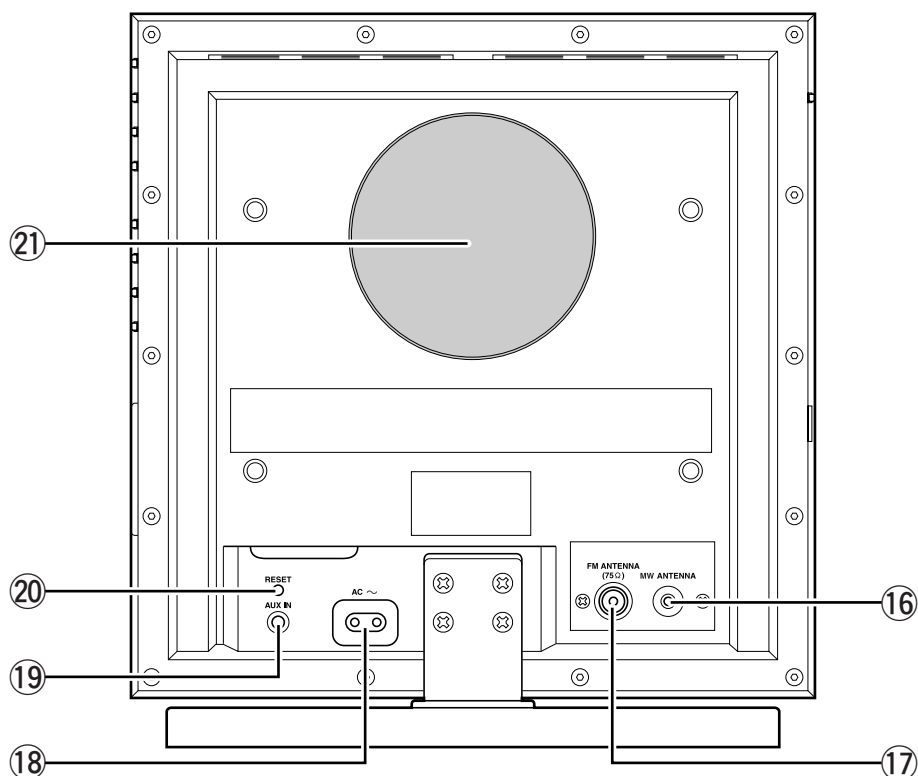
MP3、 WMAファイルが書き込まれたUSBメモリーを接続する場合、このUSB端子に接続してください。

⑭ PHONES端子（☞ P.16）

本機にヘッドフォンを接続する場合、このヘッドフォン端子に接続してください。ヘッドフォンを接続すると、スピーカーから音は出なくなります。

⑮ ⏏（オープン／クローズ）ボタン（☞ P.22）

このボタンを押すと、前面のCDドアが開き、ディスクの交換ができます。再度押すと、CDドアが閉まります。

後面

⑯ MW ANTENNA（AMアンテナ）端子（☞ P.15）

AM用アンテナ接続端子です。付属のAMループアンテナを接続してください。AMループアンテナの設置場所によって受信状態がかわりますので、放送を聞きながら最適な場所に設置してください。

⑰ FM ANTENNA（75Ω）（FMアンテナ）端子（☞ P.15）

FM用アンテナ接続端子です。付属のFMワイヤーアンテナを接続してください。また、電波の弱い地域では、付属のFMアンテナアダプターと市販の75ΩのFMアンテナを接続することにより、受信状態の改善ができます。

⑱ AC～　電源コード用端子（☞ P.15）

この端子に付属の電源コードを差し込み、電源コードのプラグを家庭用AC100V（50／60Hz）コンセントに接続してください。

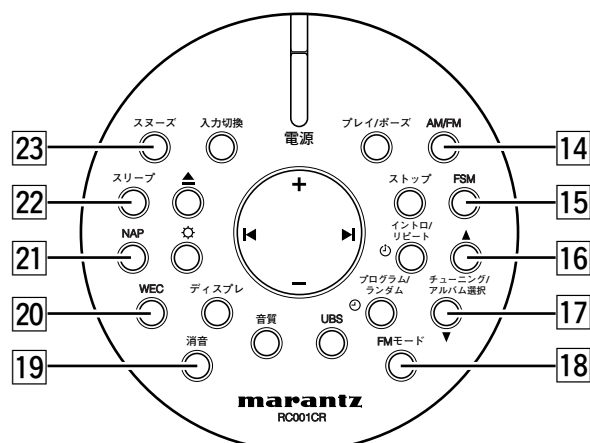
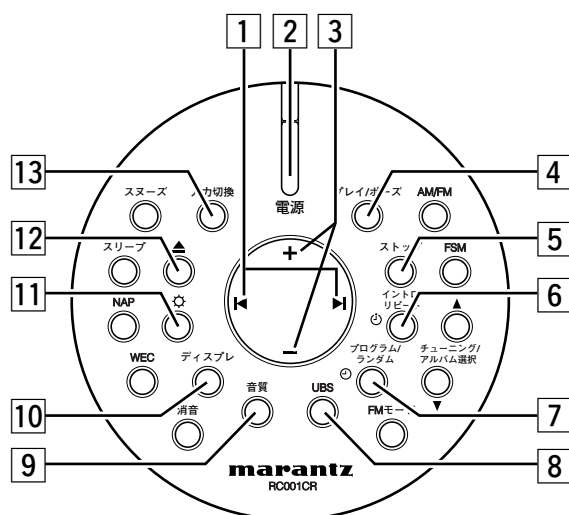
⑲ AUX IN（外部入力）端子（☞ P.16）

本機に外部機器を接続する場合、この外部入力端子に接続してください。

⑳ RESET（リセット）ボタン（☞ P.35）

リセットボタンを押すと、設定した時計、タイマー、記憶した放送局の全てが消去されます。また、リセットすることにより、本機は、工場出荷の状態に戻ります。

㉑ リアスピーカーグリル

メインリモコン（RC001CR）

1 ⏮、⏭ ボタン

- ⏮（前曲選択ボタン／早戻し）ボタン

  ＜CD、USB再生状態のとき＞（☞ P.23）
  このボタンを押すと、現在再生中の曲の頭に戻ります。さらに続けて押すと、押した回数だけ前の曲に戻ります。このボタンを押し続けると、再生中の曲を早戻しします。

  ＜ラジオ状態のとき〉（☞ P.31）
  このボタンを押すと、記憶させた放送局のプリセット番号が下がります。

- ⏭（次曲選択／早送り）ボタン

  ＜CD、USB再生状態のとき＞（☞ P.23）
  このボタンを押すと、押した回数だけ次の曲に進みます。このボタンを押し続けると、再生中の曲を早送りします。

  ＜ラジオ状態のとき＞（☞ P.31）
  このボタンを押すと、記憶させた放送局のプリセット番号が上がります。

2 電源ボタン（電源オン／待機状態）（☞ P.20）

このボタンを押すと電源が入ります。もう一度押すと待機状態になります。

3 音量ボタン（☞ P.20）

- ＋ボタン
  このボタンを押すと音量が大きくなります。
- ーボタン
  このボタンを押すと音量が小さくなります。

4 プレイ/ポーズ（再生/一時停止）ボタン（☞ P.23）

＜CD、USB状態のとき＞
このボタンを押すと再生が開始されます。また、再生中にこのボタンを押すと、再生を一時停止します。

5 ストップ（停止/削除）ボタン（☞ P.23、26）

＜CD、USB再生状態のとき＞（☞ P.23、26）
ディスクの再生を停止します。また、曲順指定再生を取り消すときに、このボタンを押します。

注意
- **CD、USB再生中に1回押すと再生を停止します。次にプレイ/ポーズボタンを押すと最後に再生していた曲のはじめから再生を開始します。（リジューム機能）リジューム機能の解除は停止中にストップボタンを押してください。**

＜TUNER、CD、AUXモードのとき＞
このボタンを5秒以上押すと、待機状態になり、時計、タイマー、記憶した放送局の全てが消去されます。

6 イントロ/リピート/⏻ ボタン

＜CD、USB停止状態のとき＞（☞ P.24）
このボタンを押すと、曲のイントロだけが再生されます。

＜CD、USB再生状態のとき＞（☞ P.24）
このボタンを押すと、1曲繰り返し再生/全曲繰り返し再生を設定します。

＜待機状態のとき＞（☞ P.32）
このボタンを押すと、目覚ましタイマーが設定されます。もう一度押すと解除されます。また、このボタンを押し続けると、目覚ましタイマーの内容設定状態になります。

7 プログラム/ランダム/⏲ボタン

＜ラジオ状態のとき＞（☞ P.30）
放送局を記憶します。

＜CD、USB停止状態のとき＞（☞ P.25）
このボタンを押すと、曲順指定再生の曲順設定状態になります。

＜CD、USB再生状態のとき＞（☞ P.24）
このボタンを押すと、ランダム再生します。

＜待機状態のとき＞（☞ P.19）
このボタンを押すと、時計の12時間表示／24時間表示が切り替わります。また、このボタンを押し続けると、時計の設定状態になります。

8 UBS（ウルトラバスシステム）ボタン（☞ P.21）

（低音強調設定）このボタンを押すと、低音強調設定をオン／オフします。

9 音質ボタン（☞ P.21）

このボタンを押して聴いている音楽の音質を設定します。
音楽に合わせて音質を設定してください。

10 ディスプレイ（表示部の表示切り替え）ボタン

＜ラジオ状態のとき＞
このボタンを押すと、放送局（FM／AM、周波数）表示と時間表示を切り替えます。

＜CD状態のとき＞
このボタンを押すと、トラック番号、プレイ時間表示と時計表示を切り替えます。

＜MP3状態のとき＞
このボタンを押すと、ファイル番号、ファイル名、ID3タグ（曲名、演奏者、アルバム名の表示）、プレイ時間表示と時計表示を切り替えます。

11 ☼（表示部の明るさ設定）ボタン（☞ P.20）

このボタンを押すたびに表示部の明るさが、明るい、標準、暗い、消灯の順でかわります。
初めて電源を入れたときは標準の明るさになっています。

12 ⏏（オープン/クローズ）ボタン（☞ P.22）

このボタンを押すと、前面のドアが開き、ディスクの交換ができます。再度押すとドアが閉まります。

13 入力切換ボタン（☞ P.22、28、29、30）

このボタンを押すたびにCD、USB、AUX、チューナーの順番で入力が切り替わります。

14 AM/FMボタン（☞ P.30）

ラジオ状態でこのボタンを押すと、受信バンド（AM／FM）が切り替わります。

15 FSM（放送局ワンタッチ受信）ボタン（☞ P.31）

ラジオ状態でこのボタンを押すと、記憶させた放送局（プリセット番号）の「01」を呼び出し受信します。

16 ▲チューニング/アルバム選択 ボタン

＜ラジオ状態のとき＞（☞ P.30）
このボタンを押すと、ラジオの受信周波数が上がります。このボタンを押し続けると、自動で受信できる放送局を探し続けます。

＜MP3状態のとき＞（☞ P.28、29）
アルバムの選択をします。

17 ▼ チューニング/アルバム選択 ボタン

〈ラジオ状態のとき＞（☞ P.30）
このボタンを押すと、ラジオの受信周波数が下がります。このボタンを押し続けると、自動で受信できる放送局を探し続けます。

＜MP3状態のとき＞（☞ P.28、29）
アルバムの選択をします。

18 FMモード ボタン（☞ P.30）

FM放送を受信しているとき、このボタンを押すとステレオ受信／モノラル受信を切り替えます。

19 消音ボタン（☞ P.20）

このボタンを押すと、スピーカーまたはヘッドホンから出る音を一時的に消します。もう一度押すと音が出ます。

20 WEC（目覚ましタイマー週末解除）ボタン（☞ P.33）

このボタンを押すと、設定している目覚ましタイマーを週末（土、日）だけ無効にします。

21 NAP（アラームタイマー）ボタン（☞ P.33）

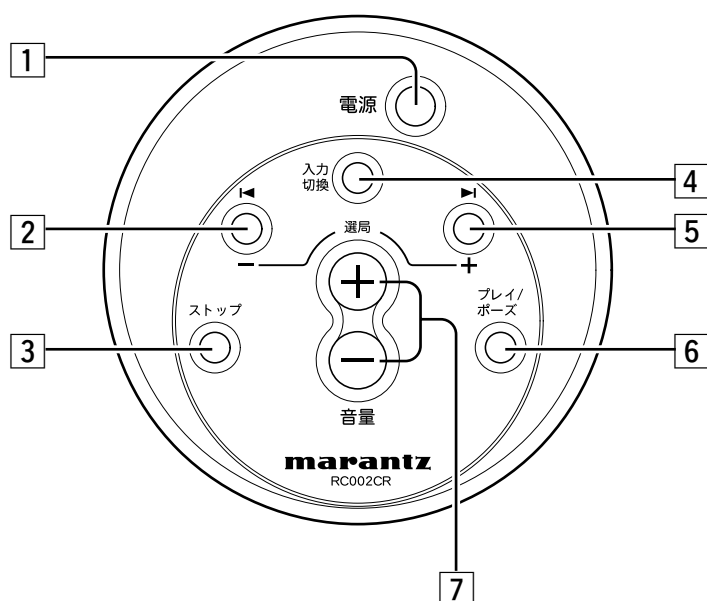
このボタンを押してアラームの時間を設定します。設定した時間になるとアラームが鳴ります。

22 スリープ ボタン（☞ P.34）

このボタンを押してスリープ時間を設定します。
設定した時間になると本機は待機状態になります。

23 スヌーズ ボタン（☞ P.33）

本機でアラームを設定した場合、このボタンを押すと設定時間に鳴るアラーム音を一時停止します。

簡易リモコン（RC002CR）

1 電源ボタン（電源オン／待機状態）（☞ P.20）

このボタンを押すと電源が入ります。もう一度押すと待機状態になります。

2 ⏮（前曲選択／早戻し）／選局－ボタン

<CD、USB再生状態のとき>（☞ P.23）
このボタンを押すと、現在再生中の曲の頭に戻ります。
さらに続けて押すと、押した回数だけ前の曲に戻ります。
このボタンを押し続けると、再生中の曲を早戻します。

<ラジオ状態のとき>（☞ P.31）
このボタンを押すと、記憶させた放送局のプリセット番号が下がります。

3 ストップ（停止／削除）ボタン

<CD、USB再生状態のとき>（☞ P.23、26）
ディスクの再生を停止します。
また曲順指定再生を取り消すときに、このボタンを押します。

<TUNER、CD、AUXモードのとき>
このボタンを5秒以上押すと、待機状態になり、時計、タイマー、記憶した放送局の全てが消去されます。

4 入力切換ボタン（☞ P.22、28、29、30）

このボタンを押すたびに、CD、USB、AUX、チューナーの順番で機能が切り替わります。

5 ⏭（次曲選択／早送り）／選局＋ボタン

<CD、USB再生状態のとき>（☞ P.23）
このボタンを押すと、押した回数だけ次の曲に進みます。
このボタンを押し続けると、再生中の曲を早送りします。

<ラジオ状態のとき>（☞ P.31）
このボタンを押すと、記憶させた放送局のプリセット番号が上がります。

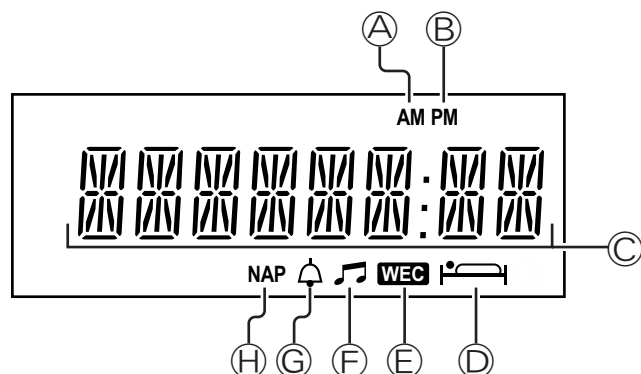
6 プレイ/ポーズ（CD再生／一時停止）ボタン

<CD、USB状態のとき>（☞ P.23）
このボタンを押すと再生が開始されます。
また再生中にこのボタンを押すと、再生を一時停止します。

7 音量＋／－ボタン（☞ P.20）

＋ボタンを押すと、音量が大きくなります。
－ボタンを押すと、音量が小さくなります。

表示部

❑ 待機状態

Ⓐ **AM 表示**
時間表示を12時間モードに設定し、午前中のときに点灯します。

Ⓑ **PM 表示**
時間表示を12時間モードに設定し、午後のときに点灯します。

Ⓒ **時間表示**
曜日と時刻を表示します。

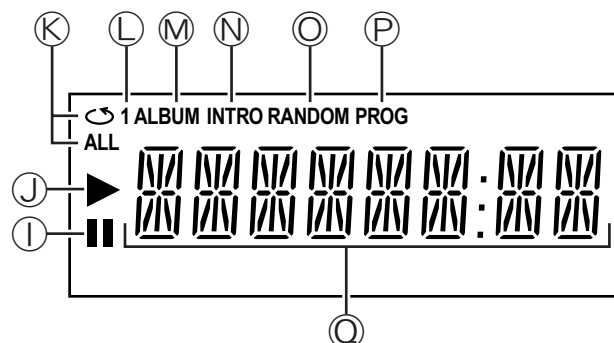
Ⓓ **表示**
スリープタイマーを設定したときに点灯します。

Ⓔ **WEC 表示**
設定している目覚ましタイマーを週末（土曜日、日曜日）だけ無効にしているときに点灯します。

Ⓕ **♫ 表示**
目覚ましタイマーをベル音以外（CD／MP3／WMA 再生またはラジオ状態）に設定したときに点灯します。

Ⓖ **表示**
目覚ましタイマーをベル音に設定したときに点灯します。

Ⓗ **NAP 表示**
アラームタイマーを設定したときに点灯します。

❑ CD／MP3／WMA 再生状態

Ⓘ **II（一時停止）表示**
CD／MP3／WMAの再生を一時停止しているときに点灯します。

Ⓙ **▶（再生）表示**
CD／MP3／WMAを再生しているときに点灯します。

Ⓚ **ALL（全曲繰り返し再生）表示**
CD／MP3／WMAの全ての曲を繰り返し再生しているときに点灯します。

Ⓛ **1（1曲繰り返し再生）表示**
CD／MP3／WMAの1曲繰り返し再生しているときに点灯します。

Ⓜ **ALBUM（アルバム繰り返し再生）表示**
MP3／WMAのアルバムを繰り返し再生しているときに点灯します。

Ⓝ **INTRO 表示**
曲の頭を10秒間だけ順次再生しているときに点灯します。

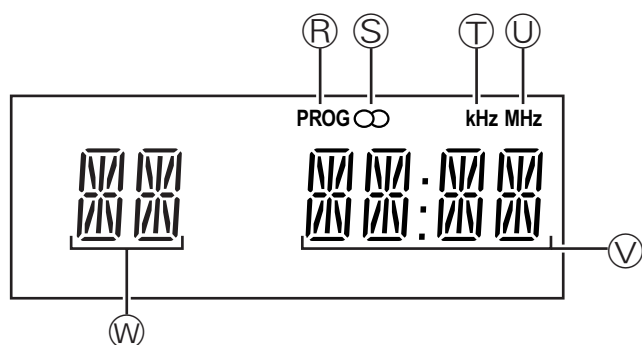
Ⓞ **RANDOM 表示**
ランダムに再生しているときに点灯します。

Ⓟ **PROG 表示**
曲順指定再生中に点灯します。

Ⓠ **トラック数、再生時間表示**

〈CD再生状態〉
トラック数と再生時間が表示されます。

〈MP3／WMA再生状態〉
アルバム数・トラック数・再生時間やテキスト情報が表示されます。

❑ ラジオ状態

Ⓡ **PROG表示**

プリセットした放送局を受信したときに点灯します。

Ⓢ **ꝏ（ステレオ）表示**

FMステレオを受信しているときに点灯します。

Ⓣ **kHz表示**

ラジオ状態でAMモードにしたときに点灯します。

Ⓤ **MHz表示**

ラジオ状態でFMモードにしたときに点灯します。

Ⓥ **周波数表示**

受信した放送局の周波数が表示されます。

Ⓦ **プリセット番号表示**

受信した放送局のプリセット番号が表示されます。

本機の使用状態について

本機の使用状態に応じて、いくつか操作ボタンの機能が変わることがあります。
本機をお使いになる上で、ボタン操作をよりよく理解していただくために、本書では操作説明の要所に各使用状態を明記してあります。ここでは、本書に明記した各使用状態の意味を以下に説明します。

❑ デモモード

本機に初めて電源コードを接続したとき、表示部には下記のように文字がスクロールします。

HELLO WELCOME TO THE DIGITAL WORLD ---- AUTOMATICS STATION PRESET DIGITAL SOUND CONTROL ＊＊＊＊ USER EQ CLASSIC POP JAZZ ROCK ＊＊＊＊ ELECTRONIC VOLUME CONTROL

❑ 待機状態

本機に付属の電源コードを接続した状態です。
本機の**ON/OFF**ボタンまたはリモコンの**電源**ボタンで電源をOFFにした状態です。
表示部にスタンバイインジケーターが赤色点灯した状態です。

❑ CD再生状態

CD ▶/II ボタンを押し、CDを再生した状態です。
表示部にディスクの曲番号リストが表示された状態です。

❑ ラジオ状態

チューナーFM/AMボタンを押し、ラジオが聴ける状態です。
表示部に放送局の周波数が表示された状態です。

❑ 外部入力状態

AUXボタンを押し、表示部に「AUX」が表示された状態です。

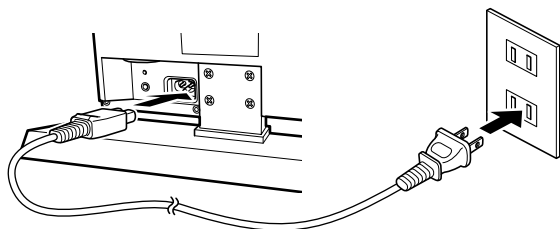
設置するときの注意

本機を長くご使用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 風とおしが悪く、湿気やホコリの多い場所
- 振動や傾斜のある不安定な場所
- 窓ぎわで、雨などがかかるおそれのある場所
- その他、特に温度の高いところ
- アンプ等の発熱の多いものの上において長時間使用しますと、コンパクトディスクプレーヤーのピックアップ部分に使用しているレーザーダイオードが熱の影響を受けやすくなりますので、アンプ等の発熱の多いものの上に置いて使用することは避けてください。
- 本機がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビと本機の距離を離してください。
- ▲（オープン/クローズ）ボタンを押すとCDドアは右側に約15cmスライドします。設置する際、本機の右側15cm以内には障害物を置かないでください。

❑ ご使用いただく電源電圧・周波数

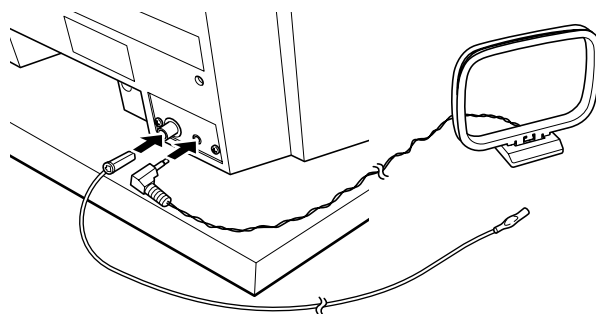
- 電源電圧は、交流100Vをご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz地域、または60Hz地域どちらでも使用できます。

電源コードを接続する

1. 付属の電源コードを本機の電源コード用端子に差し込みます。

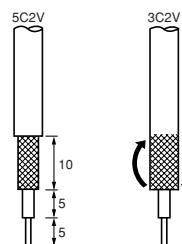
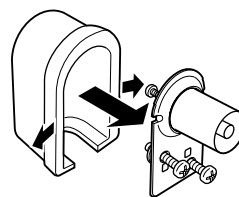
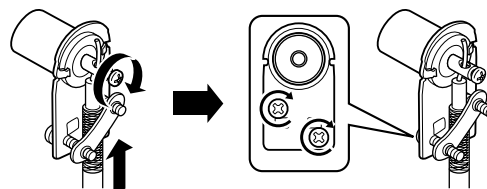
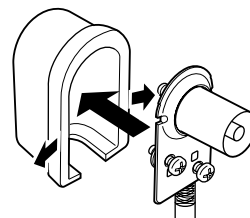
2. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。
   - 本機はデモモードになります。

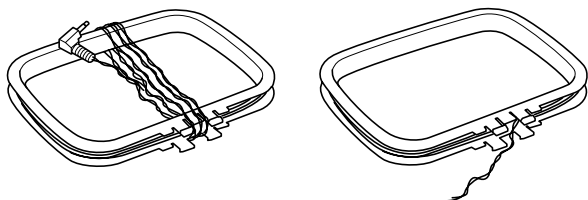
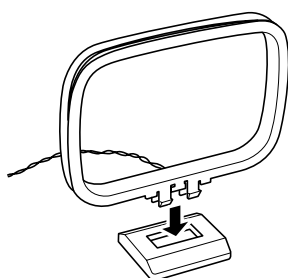
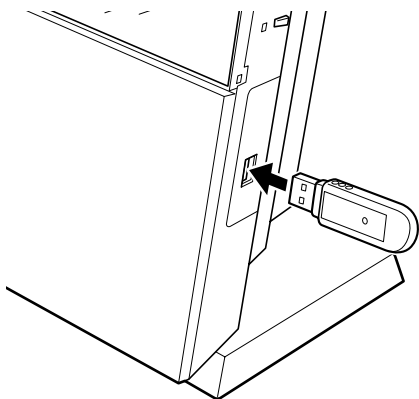
注意

- **電源コードが接続されていると、電源が常時入った状態（待機状態）になっています。完全に本機の電源を切りたいときは電源コードを抜いてください。ただし、再度電源コードを接続したときには、時計・タイマーの設定が必要になります。**

AM/FM アンテナを接続する

1. FM ANTENNA端子に付属のFMワイヤーアンテナを接続してください。また、電波の弱い地域では、付属のFMアンテナアダプターと市販の75ΩのFMアンテナを接続することにより、受信状態の改善ができます。
2. MW ANTENNA端子に付属のAMループアンテナを接続してください。

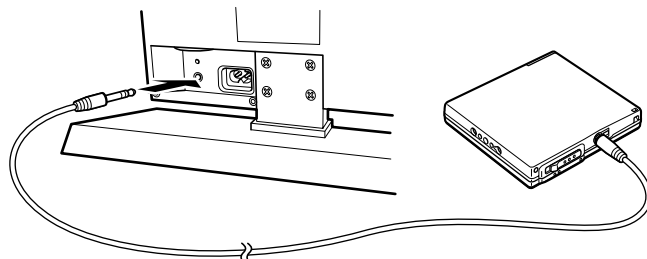
❑ FMアンテナアダプターの取付け（75Ω同軸ケーブル）

1. ケーブルの先端を加工します。

2. カバーをはずします。

3. 図のようにケーブルを取付け、ネジを締めて固定します。

4. カバーを取り付けます。

❑ AMループアンテナの組み立て

1. 接続線を取り出します。

2. ループの底にあるフックを台座部分の溝に入れて取り付けます。

USBメモリーを接続する

1. MP3やWMAに圧縮変換した音楽データファイルを記録したUSBメモリーを接続します。

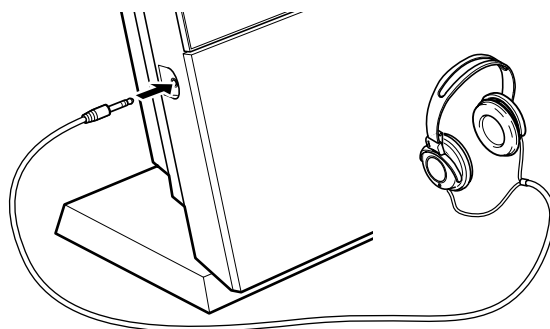
注意

- **USBメモリーを接続したり、外したりするときは、本体電源を待機状態にしてからおこなってください。**
  電源を入れた状態でUSBメモリーを接続したり外したりすると、USBメモリー内のデータやUSBメモリーが壊れる場合があります。

外部機器を接続する

1. ステレオミニプラグ（φ3.5mm）付オーディオケーブル（市販品）を使い、本機のAUX IN（外部入力）端子とポータブル音楽再生機の音声出力端子を接続します。

注意

- **接続前に各機器の電源を切ってください。**
- **プラグは、しっかりと差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。**
- **USBコネクタを持つポータブル機器で接続コードとUSBコネクタを両方接続した場合や、接続コードと電源コードを一緒に束ねたりした場合、ハムや雑音の原因になることがあります。**
- **接続する際は、本機および外部機器の音量を上げ過ぎないようご注意ください。**

ヘッドフォンを接続する

1. ヘッドフォンプラグ（φ3.5mm）を本機のヘッドフォン端子に接続します。
- ヘッドフォンを接続すると、本機のスピーカーから音は出なくなります。

注意

- **接続する際は、本機の音量を上げ過ぎないようご注意ください。**

メインリモコン(RC001CR)に電池を入れる

注意

- **付属の乾電池はリモコンの初期動作確認用です。リモコンをお使いになるときは、新しい単四乾電池 2本を装着してください。**

1. リモコン背面の電池カバーを矢印方向(開方向)に回しながら外します。

2. 新しい単四乾電池 2本を、極性表示（＋：プラスと－：マイナス）に注意し、表示通りに正しく入れてください。

3. 電池カバーを以下のように元に戻します。

注意

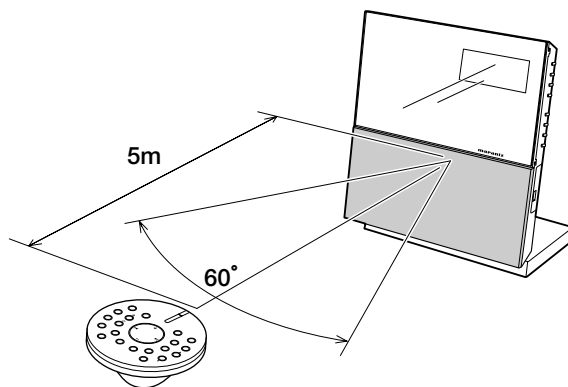
- **古い電池と新しい電池をいっしょに使用しないでください。腐食・液漏れの原因となることがあります。**
- **付属のマンガン電池は、操作の確認用です。ご使用の際にはアルカリ電池をおすすめします。**
- **電池を廃棄する時は、お住まいの市区町村の条例または指示にしたがってください。**
  電池は火に投げ入れないでください。

❑ 電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため下記のことを必ずお守りください。

- 長時間放置すると乾電池の液漏れやまた腐食することがあります。長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。
- リモコンの乾電池の＋と－の極性位置を間違えないでください。
- 乾電池を充電したり、暖めたり、また分解などしないでください。乾電池を火の中に投げ入れないでください。
- 古い乾電池、また使い切った乾電池はリモコンに入れて使わないでください。
- 異なったタイプの乾電池を使用したり、また古い乾電池と新しい乾電池をいっしょに使わないでください
- リモコンが正常に作動しない場合は、乾電池を新しいものと入れ替えてください。
- 乾電池の液が漏れた場合は、漏れた液体をきれいに拭き取り、新しい乾電池と入れ替えてください。

メインリモコン(RC001CR)の動作範囲

本機とメインリモコン(RC001CR)の操作できる範囲は下図のように約5m以内です。リモコンの操作は本機の受光部に向けて行ってください。また、リモコンと本機の間に障害物がある場合、正常な動作ができない場合があります。

簡易リモコン（RC002CR）に電池を入れる

注意

- **付属の乾電池はリモコンの初期動作確認用です。リモコンをお使いになるときは、新しい単四乾電池 2本を装着してください。**

1. リモコン背面の電池カバーを矢印方向（開方向）に回しながら外します。

2. 新しい単四乾電池 2本を、極性表示（＋：プラスと−：マイナス）に注意し、表示通りに正しく入れてください。

3. 電池カバーを以下のように元に戻します。

注意

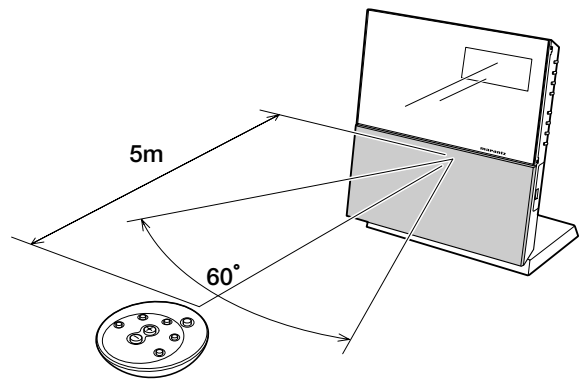
- **古い電池と新しい電池をいっしょに使用しないでください。腐食・液漏れの原因となることがあります。**
- **付属のマンガン電池は、操作の確認用です。ご使用の際にはアルカリ電池をおすすめします。**
- **電池を廃棄する時は、お住まいの市区町村の条例または指示にしたがってください。**
  電池は火に投げ入れないでください。

❑ 電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため下記のことを必ずお守りください。

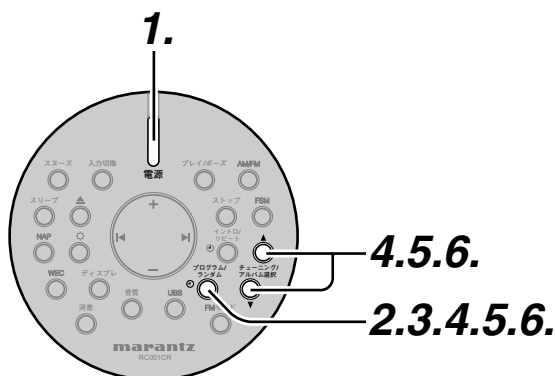
- 長時間放置すると乾電池の液漏れやまた腐食することがあります。長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。
- リモコンの乾電池の＋と−の極性位置を間違えないでください。
- 乾電池を充電したり、暖めたり、また分解などしないでください。乾電池を火の中に投げ入れないでください。
- 古い乾電池、また使い切った乾電池はリモコンに入れて使わないでください。
- 異なったタイプの乾電池を使用したり、また古い乾電池と新しい乾電池をいっしょに使わないでください
- リモコンが正常に作動しない場合は、乾電池を新しいものと入れ替えてください。
- 乾電池の液が漏れた場合は、漏れた液体をきれいに拭き取り、新しい乾電池と入れ替えてください。

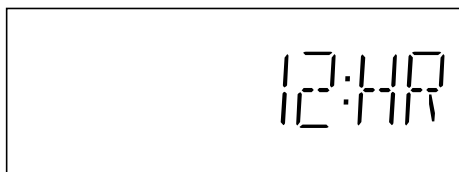
簡易リモコン（RC002CR）の動作範囲

本機と簡易リモコン（RC002CR）の操作できる範囲は下図のように約5m以内です。リモコンの操作は本機の受光部に向けて行ってください。また、リモコンと本機の間に障害物がある場合、正常な動作ができない場合があります。

時計を合わせる

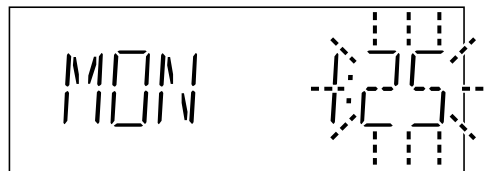
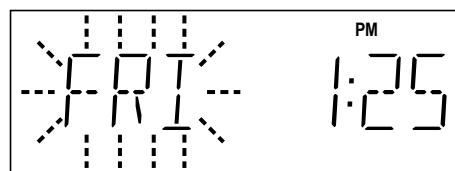
時計・曜日の設定は、電源が待機状態のときに以下の手順で行なってください。

注意

- **時計・曜日の設定中に、ボタンの無操作状態が10秒以上続くと自動的に設定は終了します。このとき設定内容は無効となりますので、もう一度やり直してください。**
- **時計、曜日の設定にはRC001CR（メインリモコン）を使用してください。RC002CR（簡易リモコン）では設定できません。**

1. 本機がデモモードまたは電源オンになっているときは、本機の**POWER ON/STANDBY**またはリモコンの**電源**ボタンを押して待機状態にします。
- 「曜日」・「時間」表示が点滅します。

2. メインリモコンの**プログラム/ランダム/**◴ ボタンを押すと、時計表示の設定を開始します。
ボタンを押す毎に「12HR」(12時間表示) または「24HR」(24時間表示)表示が切り替ります。
ボタンを押して、どちらかを選択をします。

3. メインリモコンの**プログラム/ランダム/**◴ ボタンを押し続けると、時刻の設定を開始します。

4. 「時」表示が点滅します。
メインリモコンのチューニング／アルバム選曲▲ボタンおよび▼ボタンを押して「時」を合わせます。
合わせたら、メインリモコンの**プログラム/ランダム/**◴ ボタンを押して決定します。

5. 「分」が点滅します。
メインリモコンのチューニング／アルバム選曲▲ボタンおよび▼ボタンを押して「分」を合わせます。
合わせたら、メインリモコンの**プログラム/ランダム/**◴ ボタンを押して決定します。

6. 「曜日」が点滅します。
メインリモコンのチューニング／アルバム選曲▲ボタンおよび▼ボタンを押して「曜日」を合わせます。
合わせたら、メインリモコンの**プログラム/ランダム/**◴ ボタンを押して決定し、設定完了します。

- 曜日は英語表示になります。

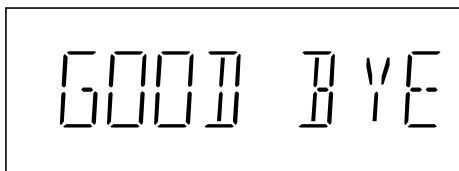
MON： 月曜日
TUE ： 火曜日
WED： 水曜日
THU ： 木曜日
FRI ： 金曜日
SAT ： 土曜日
SUN ： 日曜日

注意
- **基本操作は、必ず電源を入れた状態で操作してください。**

電源を入れる

初めて本機に電源コードを接続すると、本機はデモモードになります。(☞ P.14)

1. 本機の**POWER ON/STANDBY**ボタンまたはリモコンの**電源**ボタンを押すと、デモモードが終了し、電源が入ります。
   - 電源が入ると、前回電源を切ったときの状態が表示されます。

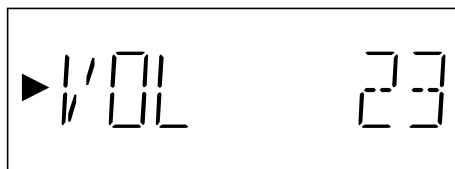
2. 再度、本機の**POWER ON/STANDBY**ボタンまたはリモコンの**電源**ボタンを押すと、待機状態になります。
   - このとき「GOOD BYE」が約2秒表示され、時計表示になります。

注意
- **電源コードが接続されていると、電源が常時入った状態(待機状態)になっています。完全に本機の電源を切りたい時は電源コードを抜いてください。ただし、再度電源コードを接続した時には、時計・タイマーの設定が必要になります。**

表示部の明るさ調整

本機の表示部は明るさを電源オンと待機状態でおのおの4段階に調整できます。

1. メインリモコンの☼ボタンを押すごとに、表示部の明るさが4段階で変わります。

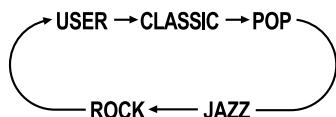
音量の調整

1. 本機の**VOLUME＋/－**ボタンまたはリモコンの**＋/－**ボタンを押して、音量を調整します。
   - **＋**ボタンを押すと、音量が大きくなります。**－**ボタンを押すと、音量が小さくなります。
   - 音量調整の範囲は「0」から「MAX」(40)までです。
   - ボタンを押し続けると、連続して音量を調整できます。

一時的に音を消す(消音)

1. メインリモコンの**消音**ボタンを押すと、スピーカーまたはヘッドホンから出る音を一時的に消します。
   - このとき表示部に「MUTE」が表示されます。
   - もう一度このボタンを押すと、消音状態が解除されます。

音質の設定

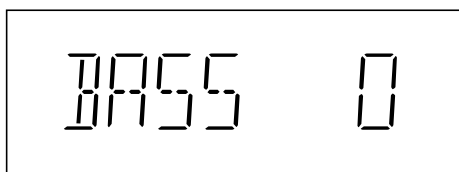
本機では、聴いている音楽に合わせて音質を設定できます。音質設定は、USER、CLASSIC、POP、JAZZ、ROCKの5種類の中から設定します。初期設定はUSERになっています。

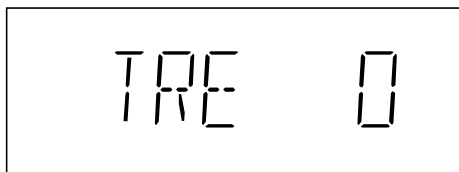
1. メインリモコンの**音質**ボタンを押すごとに、5種類の音質が順次変わります。音楽に合わせて音質を設定してください。

- 音質「USER」は、お客様自身でお好みの音質を作ることができます。聴きやすい音質を設定してください。

音質「USER」の設定

音質「USER」は、お客様自身でお好みの音質を作ることができます。聴きやすい音質を設定してください。

1. メインリモコンの**音質**ボタンを押して、「USER」を設定します。

2. さらにメインリモコンの**音質**ボタンを約2秒押し続けると、低音域の設定状態になります。
- このとき表示部に「BASS 0」が表示されます。
- 音域設定状態は、ボタンの無操作状態が5秒以上続くと自動的に元の状態に戻ります。

3. 本機の**VOLUME＋/－**ボタンまたはメインリモコンの**＋/－**ボタンを押して、低音域のレベルを設定します。
- 音域レベルの範囲は、「－6」から「＋6」までです。

4. 続けてメインリモコンの**音質**ボタンを押すと、高音域の設定状態になります。
- このとき表示部に「TRE 0」が表示されます。

5. 本機の**VOLUME＋/－**ボタンまたはメインリモコンの**＋/－**ボタンを押して、高音域のレベルを設定します。
- 音域レベルの範囲は、「－6」から「＋6」までです。

低音強調の設定

1. 本機またはメインリモコンの**UBS**ボタンを押すと、低音強調設定のON/OFFが設定できます。

CD(コンパクトディスク)を聴く

本機にCDを入れる

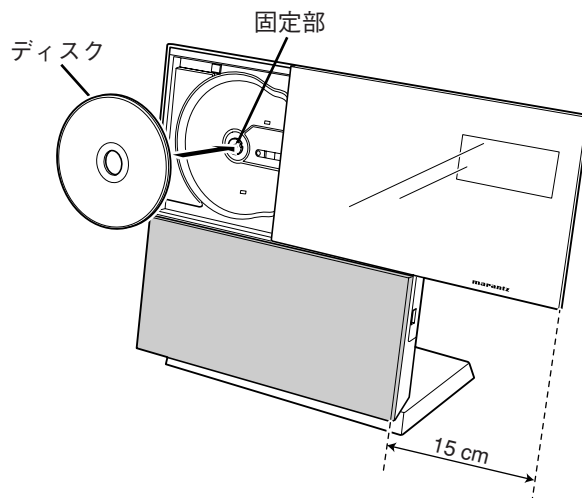
1. 本機の**FUNCTION**ボタンまたはリモコンの**入力切換**ボタンを押して、CDを選択します。
   - 本機にCDが入っていないとき、表示部に「NO DISC」が表示されます。

   - 本機にCDが入っているときは、CDの曲数とトータル時間が表示されます。

2. 本機の左側にある▲ボタンまたはメインリモコンの▲ボタンを押します。
   - このとき表示部に「OPEN」が表示されます。

注意

- **ドアは右側に約15cmスライドします。設置する際、本機の右側15cm以内には障害物を置かないでください。**
- **CDを再生しているときは、ドアを手で開けないでください。プレーヤーの故障の原因になります。**
- **ディスクポケット内部にあるピックアップレンズには触れないでください。レンズに指紋や傷などがつくと、ディスクを再生できなくなることがあります。**
- **▲（オープン/クローズ）ボタンを押して、ドアを開けたままの状態にしておくと、ドアは約120秒後に閉まります。ディスク挿入時に、指をはさんだり、ディスクにキズをつけないように注意してください。**

3. CDのラベル面を手前側にして、ディスクポケット内部のCD固定部に差し込みます。

注意

- **ディスクが正しく差し込まれないとディスクの認識、再生ができません。**

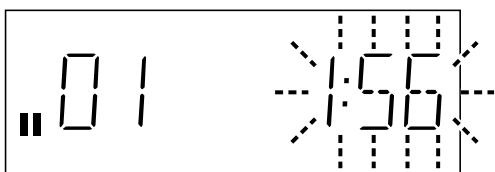
4. 本機またはメインリモコンの ▲ ボタンを押します。
   - このとき表示部に「CLOSE」が表示された後、「CD READ」が表示されます。

   - CDの読み込みが完了すると、CDの曲数とトータル時間が表示されます。

CDを再生する

1. 本機の ▶II ボタンまたはリモコンの**プレイ/ポーズ**ボタンを押すと、CDが再生されます。
   - 表示部に「▶」が表示され、CDの最初の曲から再生されます。
   - CD再生時は、再生中の曲の経過時間が表示されます。
   - CDの最後の曲を再生し終わると、自動的に停止します。

❑ 一時停止する

1. CD再生中に、もう一度**プレイ/ポーズ**ボタンを押すと、再生を一時停止します。
   - 表示部に「II」が表示され、経過時間表示が点滅します。
   - 再び再生を始めるには、もう一度**プレイ/ポーズ**ボタンを押します。

❑ 再生を停止する

1. CD再生中に、本機の■ボタンまたはリモコンの**ストップ**ボタンを押すと、再生していた曲番を表示して再生を停止します。
2. もう一度本機の■ボタンまたはリモコンの**ストップ**ボタンを押すと、トータル曲数とトータル時間の表示になります。

前曲、次曲の選択

❑ 前曲（または再生曲の最初）の選択

1. CD再生中に、本機またはリモコンの I◀ ボタンを押すと、再生している曲の最初からもう一度再生します。
2. 再生中の曲より前の曲を選ぶには、希望の曲番号が表示されるまで、本機またはリモコンの I◀ ボタンを何度か押します。
   - 希望の曲番号を選ぶと、その曲が自動的に再生されます。

❑ 次曲の選択

1. 再生中の曲より次の曲を選ぶには、希望の曲番号が表示されるまで、本機またはリモコンの ▶I ボタンを何度か押します。
   - 希望の曲番号を選ぶと、その曲が自動的に再生されます。

早戻し、早送り

曲の聴きたい部分を素早く見つけるのに便利です。
早戻し/早送り中は、スピーカーからの音量は小さくなります。

❑ 早戻し

1. CD再生中に聴きたい部分が見つかるまで、本機またはリモコンの I◀ ボタンを押し続けます。聴きたい部分が見つかったらボタンを離します。
   - 聴きたい部分から再生が始まります。

❑ 早送り

1. CD再生中に聴きたい部分が見つかるまで、本機またはリモコンの ▶I ボタンを押し続けます。聴きたい部分が見つかったらボタンを離します。
   - 聴きたい部分から再生が始まります。

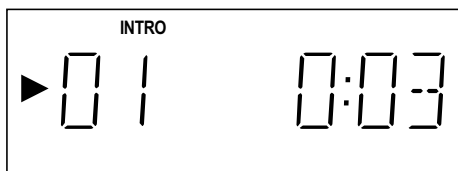
イントロ（曲頭）再生

CDに入っている曲の頭を10秒間だけ順次再生します。お探しの曲を再生するときに便利です。イントロ再生は、必ずCD停止状態から操作してください。

1. 本機の■ボタンまたはリモコンの**ストップ**ボタンを2回押して、CDの再生を停止します。

注意

- **再生中に本機の■ボタンまたはリモコンのストップボタンを1回押してからメインリモコンのイントロ/リピート/⏻ ボタンを押すと最後に再生していた曲番からイントロ再生が始まります。**

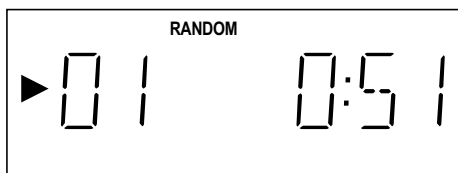
2. メインリモコンの**イントロ/リピート/⏻** ボタンを押すと、CDの最初の曲からイントロ再生が始まります。
- このとき表示部に「INTRO」が表示されます。

- 続けて**イントロ/リピート/⏻** ボタンを押すと、押したときの曲の頭を「1曲イントロ繰り返し再生」します。
- さらに続けて**イントロ/リピート/⏻** ボタンを押すと、押したときの曲から「全曲イントロ繰り返し再生」します。

3. 表示部の「INTRO」が消えるまでメインリモコンの**イントロ/リピート/⏻** ボタンを押すと、イントロ再生が解除された曲から順次再生されます。

ランダム再生

CDに入っている曲をランダムに再生します。ランダム再生は、必ずCDを再生した状態で操作してください。

1. 本機の ▶II ボタンまたはリモコンの**プレイ/ポーズ**ボタンを押して、CDを再生します。

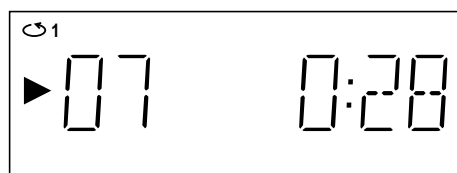
2. メインリモコンの**プログラム/ランダム/⏲** ボタンを押すと、ランダム再生が始まります。
- このとき表示部に「RANDOM」が表示されます。

3. ランダム再生を解除するには、メインリモコンの**プログラム/ランダム/⏲** ボタンをもう一度押します。

繰り返し（リピート）再生

❑ 1曲繰り返し再生

任意の曲だけを繰り返し（リピート）再生します。繰り返し再生は、必ずCDを再生した状態で操作してください。

1. 本機の ▶II ボタンまたはリモコンの**プレイ/ポーズ**ボタンを押して、CDを再生します。

2. メインリモコンの**イントロ/リピート/⏻** ボタンを1回押すと、押したときの曲だけを繰り返し再生します。
- このとき表示部に「 ⟲1 」が表示されます。

3. 1曲繰り返し再生を解除するには、「 ⟲ 」が消えるまでメインリモコンの**イントロ/リピート/⏻** ボタンを押します。

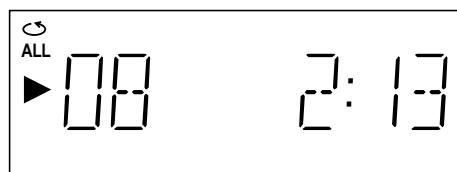
注意

- **⟲1 は1曲リピート、⟲ALBUM はMP3/WMAのフォルダーリピート、⟲ALL は全曲リピートです。**

❑ 全曲繰り返し再生

CDに入っている全曲を繰り返し（リピート）再生します。繰り返し再生は、必ずCDを再生した状態で操作してください。

1. 本機の ▶II ボタンまたはリモコンの**プレイ/ポーズ**ボタンを押して、CDを再生します。

2. メインリモコンの**イントロ/リピート/⏻** ボタンを2回押すと、押したときの曲から全曲繰り返し再生します。（MP3/WMA再生時は「⟲ALL」が表示されるまで押してください。）
- このとき表示部に「⟲ALL」が表示されます。

3. 全曲繰り返し再生を解除するには、メインリモコンの**イントロ/リピート/⏻** ボタンを1回押します。
- このとき表示部の「⟲ALL」が消えます。

指定した曲順で聴く

CDに入っている曲の中から、お客様のお好みの曲をお好きな順番で再生することができます。曲順指定の曲数は最大60曲までです。また同じ曲を2回以上指定できます。曲順指定再生は、必ずCD停止状態から操作してください。

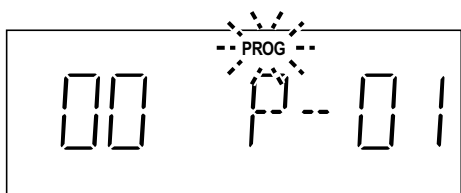
注意

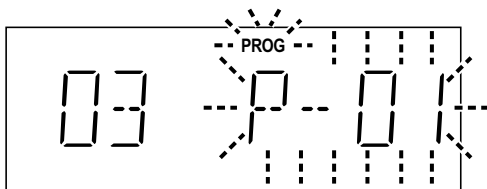
- **曲順の設定中に、ボタンの無操作状態が10秒以上続くと自動的に設定は終了します。このとき設定内容は無効となりますので、もう一度やり直してください。**

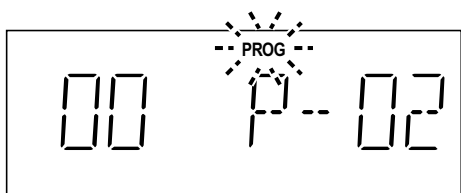
❑ 曲順を指定し再生する

1. 本機の■ボタンまたはリモコンの**ストップ**ボタンを押して、CDの再生を停止します。

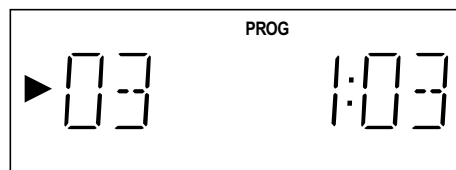
2. メインリモコンの**プログラム/ランダム/**◷ ボタンを押すと、曲順指定再生の曲順設定状態になります。

- 表示部が以下のように変わり、指定番号｢P-01｣が表示されます。
- このとき表示部の ｢PROG｣が点滅しています。

3. リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、曲を指定します。

- 表示部には指定した曲番号が表示されます。

4. 指定した曲を決定するには、メインリモコンの**プログラム/ランダム/**◷ ボタンを押します。

- このとき表示部は、次の曲の指定番号｢P-02｣を表示します。

5. 手順 **3** と **4** を繰り返して、他の曲も順番に指定してください。（最大60曲まで）

6. 指定した曲順を再生するには、本機の ▶II ボタンまたはリモコンの**プレイ/ポーズ**ボタンを押して再生します。

- このとき表示部の｢PROG｣が点滅から点灯に変わります。

- 指定した曲の順番で再生が始まります。

❑ 曲順指定再生の解除（CD再生状態へ）

1. 曲順指定再生中に本機の■ボタンまたはリモコンの**ストップ**ボタンを押すと、再生を停止し曲順指定入力状態になります。

- このとき、指定した曲順の内容は記憶された状態です。

2. 停止状態で本機の■ボタンまたはリモコンの**ストップ**ボタンを押すと、曲順指定再生が解除できます。

3. 本機の ▶II ボタンまたはリモコンの**プレイ/ポーズ**ボタンを押すと、通常の再生が始まります。

❑ 指定した曲順を変更する

1. 本機の■ボタンまたはリモコンの**ストップ**ボタンを押して、CDの再生を停止します。

2. メインリモコンの**プログラム/ランダム/**◷ ボタンを押し、曲順指定再生の曲順設定状態にします。
- このとき表示部の「PROG」が点滅しています。

3. 指定番号の曲を変更するには、まずメインリモコンの**プログラム/ランダム/**◷ ボタンを何度か押して、変更したい指定番号を選びます。

4. 選んだ指定番号の曲を変更するには、リモコンの ⏮ または ⏭ ボタンを押して、新たに曲を指定します。
- 表示部には指定した新しい曲番号が表示されます。

5. 指定した曲を決定するには、メインリモコンの**プログラム/ランダム/**◷ ボタンを押します。

❑ 指定曲を追加する

1. 本機の■ボタンまたはリモコンの**ストップ**ボタンを押して、CDの再生を停止します。

2. メインリモコンの**プログラム/ランダム/**◷ ボタンを押し、曲順指定再生の曲順設定状態にします。
- このとき表示部の「PROG」が点滅しています。
- 事前に指定曲順が記憶されていると、指定番号は記憶されている次の新しい番号を表示します。

3. 指定曲を追加するには、リモコンの ⏮ または ⏭ ボタンを押して、新たに曲を指定します。
- 表示部には指定した曲番号が表示されます。

4. 指定した曲を決定するには、メインリモコンの**プログラム/ランダム/**◷ ボタンを押します。
- 指定曲順の最後に新しい曲が追加されます。

❑ 曲順指定の内容を削除する

1. 曲順指定の内容を削除するには、停止中に本機の■ボタンまたはリモコンの**ストップ**ボタンを押します。

＜その他の方法＞
- 本機またはメインリモコンの▲ボタンでドアを開くと曲順指定の内容を削除します。
- 本機の**POWER ON/STANDBY**ボタンまたはリモコンの**電源**ボタンを押して電源を切ると、曲順指定の内容を削除します。
- 本機の**FUNCTION**ボタンまたはリモコンの**入力切換**ボタンを押すと曲順指定の内容を削除します。

MP3やWMAの音楽ファイルを聴く

本機はMP3（MPEG Audio Layer3）またはWMA（Windows Media Audio）ファイル形式で記録されたデータファイルをCD-R、CD-RWに書き込んだディスクでの再生や、USBメモリーにデータファイルを記録してUSB（UNIVERSAL SERIAL BUS）経由での再生が可能です。
また、MP3のID3タグ　バージョン1に対応しており、ID3タグ情報が記録されているファイルではトラックタイトル、アーティスト名、アルバムタイトルを表示することができます。

- Windows Media , Windowsロゴは米国、その他の国で、米国Microsoft Corporationの登録商標または商標になっています。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

注意

- **本機で対応している規格は"MPEG-1 Audio Layer-3"（サンプリング周波数 fsは32、44.1、48kHz）です。それ以外の"MPEG-2 Audio Layer-3"、"MPEG-2.5Audio Layer-3"およびMP1、MP2などには対応していません。**
- **一般にビットレートが高いほど音質が良くなります。**

  MP3の対応ビットレートは32～320 kbps、WMAは64～160 kbpsです。本機では128kbps以上のビットレートで記録されたMP3/WMAのご使用をおすすめします。
- **MP3/WMAファイルには必ず拡張子".MP3"".WMA"を付けてください。".MP3"".WMA"以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合はファイルを再生できません。**

  （マッキントッシュのパソコンの場合、半角英数大文字30文字以内のファイルネームの最後に拡張子".MP3"を付けてCD-R/RWに記録することにより、MP3ファイルの再生が可能です。）
- **プレイリストには対応していません。**
- **再生出来るファイル数はフォルダー数も含めて最大512です。**
- **本機は30文字までのフォルダ名やファイル名を表示できます。**
- **MP3を再生した時に表示されるID3タグ情報やファイル名の文字情報は日本語表示に対応していません。英数字をご使用ください。**
- **本機は、MP3 ID3-Tagのバージョン1のみに対応しています。**
- **可変ビットレートファイルの再生時には、正しく時間表示されないことがあります。**
- **CD-RやCD-RWに書き込むフォーマットはISO9660モード１またはモード２で書き込みをしてください。また、マルチセッションに対応していますので、追加で書き込みしたデータの再生もできます。**
- **パケットライトで記録されたMP3/WMAファイルは再生できません。**
- **記録したデータの状態によっては曲情報を読み取るのに時間がかかる場合があります。**
- **音楽用のフォーマットCD-DAとMP3/WMAファイルが混在したエンハンスドCDは音楽用のフォーマットCD-DAのみ再生、ミックスCDはMP3/WMAのみ再生します。**
- **WMA DRM（著作権保護）の再生には対応していません。**

ID3タグ情報を表示する

ID3タグとはMP3のTITLE、ARTIST、ALBUMなどの文字情報のことをいいます。

1. MP3ファイルを再生しながらメインリモコンのディスプレイボタンを押すと、下記の順にスクロールします。

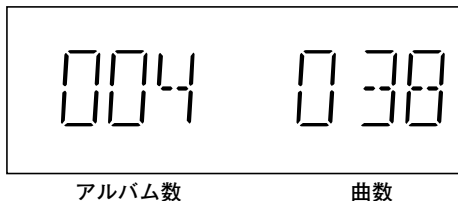
ファイル名のスクロール → ID3タグのスクロール → 時計表示 → トラック・再生時間表示

- ID3タグのスクロールはTITLE→ARTIST→ALBUMの順にスクロールします。
- 停止中はディスプレイボタンで時計表示とトラック番号表示ができます。

注意

- **MP3を再生した時に表示されるID3タグ情報やファイル名の文字情報は日本語表示に対応していません。英数字をご使用ください。**

CD-RやCD-RWにあるMP3やWMAファイルを再生する

1. 本機の**FUNCTION**ボタンまたはリモコンの**入力切換**ボタンを押して、CDを選択します。
   - 本機にディスクが入っていないとき、表示部に「NO DISC」が表示されます。
   - 本機にディスクが入っているときは、CD READの表示後、ディスク情報を表示します。

2. 本機またはリモコンの ⏮/⏭ ボタンで曲を選曲すると再生が始まります。
3. アルバムを選択する時はリモコンの**チューニング/アルバム選択▲/▼**ボタンで選択したあとに**プレイ/ポーズ**ボタンを押してください。お好みのアルバム（フォルダー）の1曲目から再生を始めます。

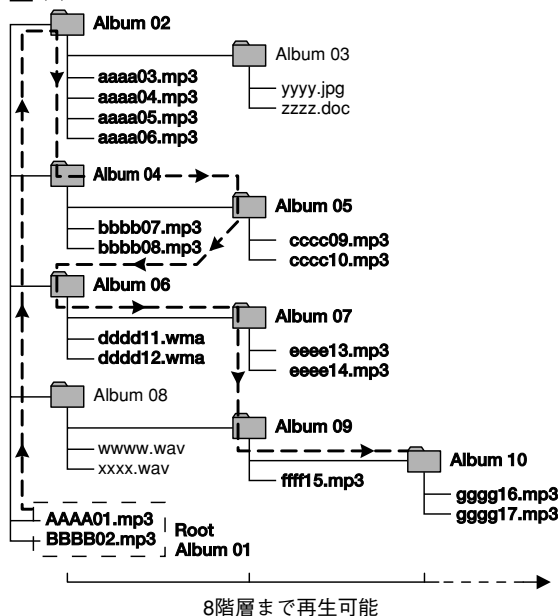
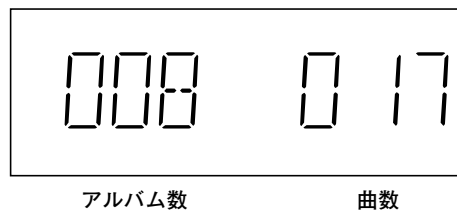
❑ CD-RやCD-RWに記録したMP3/WMAのアルバム（フォルダー）や曲（ファイル）の再生順

フォルダーやファイルを再生する優先順位は

- 数字の「0」から始まるフォルダー/ファイル名が優先されます。
- 次にアルファベットの「A」からのフォルダー/ファイル名が優先されます。

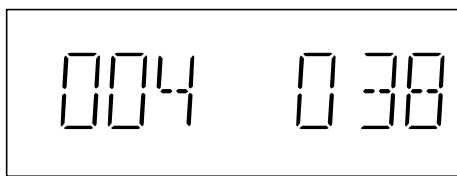
MP3ファイルデータをROOTのすぐ下に記録した場合、フォルダーにまとめてMP3データを記録したデータより優先して再生します。

MP3/WMA再生順の例

〈Windows Explorerで表示した場合〉

上図ディスクの場合の表示（停止中）

- 矢印付の点線（ ━➔━ ）はMP3のアルバムとトラックの再生順を示しています。
- アルバム01ーアルバム10
  図の例ではこのCD-ROMは10個のアルバム（フォルダ）を持っていますが、アルバム03と08はMP3ファイルではないので再生しません。
- AAAA01.mp3ーgggg17.mp3
  図の例ではこのCD-ROMは17個のトラックを持ち、“AAAA01”が初めのトラックで、“gggg17”が最後のトラックです。
- 拡張子.mp3／.wmaファイルのみ再生し、.wav、.jpg、.doc等のファイルはスキップします。
- PC上で現われる順番と異なる場合があります。またライティングソフトによって変わる場合があります。

USBメモリー等にあるMP3/WMAファイルを再生する（USB端子）

1. 本機を待機状態にしてから、本機の右側にあるUSB端子にMP3またはWMAのデータを記録したUSBメモリーを接続します。

2. 本機の電源を入れてから、本機の**FUNCTION**ボタンまたはリモコンにある**入力切換**ボタンを押して、USBを選択します。
   - このとき表示部に「USB READ」が表示されます。
   - USBメモリーのファイルの読み込みが完了すると、メモリー内の情報を表示します。

アルバム数　曲数

3. 本機またはリモコンの ⏮ / ⏭ ボタンで曲を選曲すると再生が始まります。

4. アルバムを選択する時はメインリモコンの**チューニング/アルバム選択▲/▼**ボタンで選択したあとに**プレイ/ポーズ**ボタンを押してください。お好みのアルバム（フォルダー）の1曲目から再生を始めます。

注意

- **「NO DEV」が表示されたとき、USBメモリーが完全に接続されていないか、USBメモリーが壊れている可能性があります。本機を待機状態にしてから、接続を確認してください。**
- **「NO DATA」が表示されたとき、USBメモリー内にあるデータの拡張子が「.mp3」や「.wma」になっていないか、またはデータが壊れている可能性があります。本機を待機状態にしてからUSBメモリーを取り外し、パソコンでUSBメモリー内のデータを確認してください。**
- **USBメモリーはフラッシュメモリー・HDDなどを内蔵したUSBマスストレージクラスに対応した装置です。**
- **USBメモリーを接続したり、外したりする時は、待機状態にしてからおこなってください。電源を入れた状態でUSBメモリーを接続したり、外したりするとUSBメモリー内のデータやUSBメモリーが壊れる場合があります。**
- **すべてのUSBメモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。**
- **USBメモリーを本機と接続して使用している時に、USBメモリーのデータが万が一消失あるいは損傷した場合、当社は一切責任を負いかねます。**
- **本機のUSB端子を介して携帯音楽プレーヤーに記録したデータを再生する場合、著作権保護が施されたデータは再生できません。**

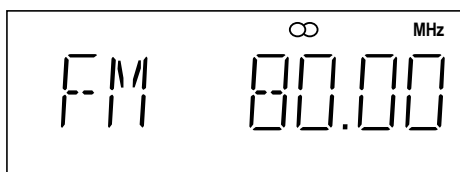
❑ USBメモリーに記録したMP3/WMAのアルバム（フォルダー）や曲（ファイル）の再生順

フォルダー名やファイル名の英数字の順に関係なく、書き込みした順に再生します。

いろいろな聞き方

MP3/WMA形式で記録されたディスクにおいても、いろいろな聞きかたができます。
（前曲／次曲の選択、早戻し／早送り、イントロ再生、ランダム再生、リピート再生、プログラム再生）
CDを聴く聞く（23ページ〜26ページ）を参照してください。

ラジオの基本操作

1. 本機の**FUNCTION**ボタンまたはリモコンの**入力切換**ボタンを押して、TUNERを選択します。
   - このとき、本機はラジオ状態になります。
   - 電源が入ると、前回電源を切ったときの受信バンドと周波数が表示されます。

2. メインリモコンの**AM/FM**ボタンを押して、受信バンド(AM/FM)を選びます。

3. メインリモコンの**チューニング/アルバム選択▲/▼**ボタンを押して、受信周波数を選びます。
   - AM放送では、9kHzの周波数ステップで切り替わります。
   - FM放送をお聴きの場合、本体にあるFMアンテナを受信しやすい方向へのばしてください。
   - FM放送では、0.1MHzの周波数ステップで切り替わります。
   - FM放送では、ステレオ放送を受信しているときは、「 ◯◯ 」が表示され、ステレオ受信状態でモノラル信号を受信していると、「 ◯◯ 」が消灯します。

❑ 放送局の自動選局

1. 「ラジオの基本操作」に従って、本機をラジオ状態にします。

2. メインリモコンの**チューニング/アルバム選択▲/▼**ボタンを2秒以上押して離すと、受信周波数を自動で選び始めます。
   - 周波数表示が連続で変わり始めます。(自動選局中)
   - 受信バンド帯域内を選局し、放送局を受信すると停止します。

❑ FM放送局のステレオ/モノラル受信

FM放送でステレオ放送を受信しているときは、「 ◯◯ 」が表示されます。FMステレオ放送の電波が弱いとき、モノラル受信に切り替えると聴きやすくなります。

1. 「ラジオの基本操作」に従って、本機をラジオ状態にし、FM放送を受信します。

2. メインリモコンの**FMモード**ボタンを押すと、モノラル受信に変わります。
   - このとき表示部の「 ◯◯ 」が消えます。

3. ステレオ受信に戻すには、メインリモコンの**FMモード**ボタンをもう一度押します。
   - このとき表示部の「 ◯◯ 」が表示されます。

放送局を記憶(プリセット)させて聴く

本機は、FM/AMの放送局を最大40局まで記憶(プリセット)できます。放送局を記憶させる方法は、「自動記憶」と「手動記憶」の2つの方法があります。
「自動記憶」は、FM放送の放送局だけを自動で選び記憶します。

❑ 放送局の自動記憶(オートプリセット)

注意
- **事前に放送局を記憶した状態で「自動記憶」を行うと、記憶していた放送局が全て削除され、新しく選ばれた放送局が記憶されます。**

1. 本機の**FUNCTION**ボタンまたはリモコンの**入力切換**ボタンを押して、TUNERを選択します。
   - 本機はラジオ状態になり、受信バンドと周波数が表示されます。

2. リモコンの**プログラム/ランダム/**◷ ボタンを押し続けると、自動で放送局を選び記憶が始まります。
   - 周波数表示が連続で変わり放送局が記憶されると、プリセット番号(記憶させた放送局の番号)も次々に変わります。
   - 自動記憶が終わると、プリセット番号「01」に記憶された放送局を受信します。
   - このとき表示部は、デモモードになります。
   - 通常のラジオ状態の表示に戻すには、リモコンの**ストップ**ボタンを押してください。

注意
- **放送局の自動記憶を途中で停止したいときは、ストップボタンを押してください。**

❑ 放送局の手動記憶（マニュアルプリセット）

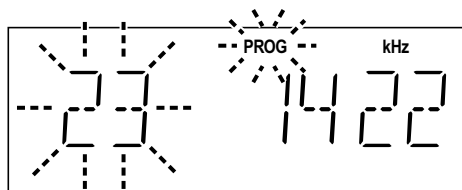
注意

- **事前に放送局を記憶した状態で「自動記憶」を行うと、記憶していた放送局が全て削除され、新しく選ばれた放送局が記憶されます。**

1. 本機の**FUNCTION**ボタンまたはリモコンの**入力切換**ボタンを押して、TUNERを選択します。
- 本機はラジオ状態になり、受信バンドと周波数が表示されます。

2. メインリモコンの**AM/FM**ボタンを押して、受信バンド（AM/FM）を選びます。

3. **チューニング/アルバム選択▲/▼**ボタンを押して、記憶したい受信周波数を選びます。

4. メインリモコンの**プログラム/ランダム/**⊙ ボタンを押すと、受信周波数を記憶できる状態になります。
- 表示部には、記憶されていないプリセット番号が表示され、プリセット番号と「PROG」が約5秒間点滅します。

注意

- **「PROG」が点滅中に、次の操作を続けてください。ボタンの無操作状態が5秒以上続くと自動的にラジオ状態に戻ります。**

5. リモコンの ⏮ または ⏭ ボタンを押して、プリセット番号を指定します。
- プリセット番号は「01」～「40」の中で選べます。

注意

- **事前に放送局が記憶されたプリセット番号を選ぶと、記憶していた放送局が削除され、新しく選んだ放送局が記憶されます。**

6. 選んだプリセット番号に記憶するには、メインリモコンの**プログラム/ランダム/**⊙ ボタンを押します。
- このとき表示部は、点滅していた「PROG」が点灯に変わり、記憶したプリセット番号を表示します。

7. 手順 ***3*** と ***6*** を繰り返して、他の放送局も手動で記憶することができます。

❑ 記憶した放送局を選ぶ

1. 本機の**FUNCTION**ボタンまたはリモコンの**入力切換**ボタンを押して、TUNERを選択します。
- 本機はラジオ状態になり、受信バンドと周波数が表示されます。

2. 記憶したプリセット番号を選ぶには、リモコンの ⏮ または ⏭ ボタンを押します。

❑ 放送局のワンタッチ受信

記憶したプリセット番号の中で「01」の放送局をワンタッチで呼び出し受信します。
メインリモコンの**FSM**ボタンを押すことで、プリセット番号「01」だけを呼び出すことができる機能です。

1. 本機の**FUNCTION**ボタンまたはリモコンの**入力切換**ボタンを押して、TUNERを選択します。
- 本機はラジオ状態になり、受信バンドと周波数が表示されます。

2. 「放送局の手動記憶」に従って、お好みの放送局をプリセット番号「01」に記憶します。

3. 本機がラジオ状態のときに、メインリモコンの**FSM**ボタンを押すと、プリセット番号「01」の放送局を受信します。

タイマーを使う

本機には、3つのタイマー設定があります。

- **目覚ましタイマー**
  設定した時間に本機の電源が入り、アラーム音、ラジオまたは音楽CDを鳴らして予定時間をお知らせする機能です。
- **アラームタイマー**
  設定した残り時間(設定時から何分後)になると、アラーム音が鳴り、設定した時間が経過したことをお知らせする機能です。
- **スリープタイマー**
  設定した残り時間(設定時から何分後)になると、本機の電源を自動で待機状態にする機能です。

注意

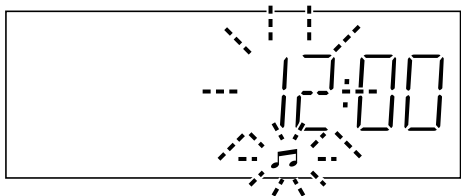
- **タイマーを設定する場合は、本機の時計を合わせてください。**
- **タイマー設定中に、ボタンの無操作状態が10秒以上続くと自動的に設定は終了します。このとき設定内容は無効となりますので、もう一度やり直してください。**

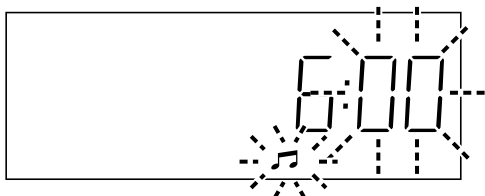
目覚ましタイマー

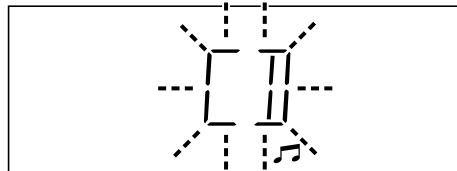
❑ タイマーを設定する

1. 本機の**POWER ON/STANDBY**ボタンまたはリモコンの**電源**ボタンを切り、待機状態にします。

2. メインリモコンの**イントロ/リピート/⏻**ボタンを押し続けると、タイマーの｢時｣を設定する状態になります。

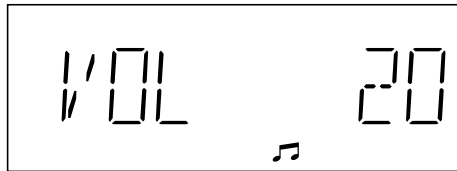
- このとき｢時｣表示が点滅します。

3. **チューニング/アルバム選択▲/▼**ボタンを押してタイマーの｢時｣を設定します。設定した時間を決定するには、**イントロ/リピート/⏻**ボタンを押します。

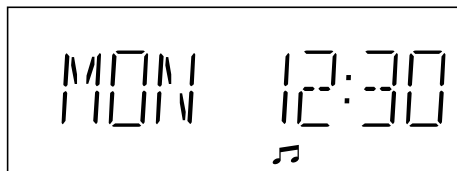
- 時間を決定したら、｢分｣表示が点滅します。

4. **チューニング/アルバム選択▲/▼**ボタンを押してタイマーの｢分｣を設定します。設定した時間を決定するには、**イントロ/リピート/⏻**ボタンを押します。

- 時間を決定したら、「BUZZER」、「CD」、「USB」または「TUNER」が表示されます。目覚ましのアラームとして「BUZZER」、「CD」、「USB」または「TUNER」の中から選んでください。

5. **チューニング/アルバム選択▲/▼**ボタンを押して｢アラーム音｣を設定します。

- ｢CD｣を選んだ場合は、あらかじめ本機にCDを入れておいてください。
- ｢TUNER｣を選んだ場合は、続けてリモコンの ⏮ または ⏭ ボタンを押して、プリセット番号を選んでください。
- ｢USB｣を選んだ場合は、あらかじめ本機にUSBメモリーを接続しておいてください。

6. 設定したアラーム音を決定するには、**イントロ/リピート/⏻**ボタンを押します。

- アラーム音を決定したら、｢VOL｣(最大音量設定)が表示されます。

7. リモコンの**+/−**ボタンを押して、アラームの最大音量を設定します。設定したアラーム音量を決定するには、メインリモコンの**イントロ/リピート/⏻**ボタンを押します。

- アラーム音量を決定したら、目覚ましタイマーの設定は完了です。
- このとき表示部は時計表示に戻り、アラーム表示が表示されます。

- 設定した時間になると、本機の電源が入り、設定したアラーム音が最小音量から設定最大音量になるまで徐々に鳴らしてお知らせします。
- アラーム音は停止しない限り、設定時間から90分鳴り続けます。

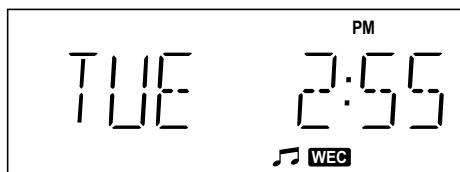
❑ タイマーを一時停止する

1. 目覚ましタイマーのアラーム音を一時停止するには、メインリモコンの**スヌーズ**ボタンを押します。
   - アラーム音が一時的に停止します。停止してから5分が過ぎると再びアラームが鳴ります。

❑ タイマーを停止する（当日のみ）

1. 目覚ましタイマーのアラーム音を停止するには、本機の**POWER ON/STANDBY**ボタンまたはリモコンの**電源**ボタンを押します。
   - アラーム音が停止します。これは停止した当日のみ有効で、次の日は設定時間にアラーム音が鳴ります。

❑ タイマーの週末（土、日）解除

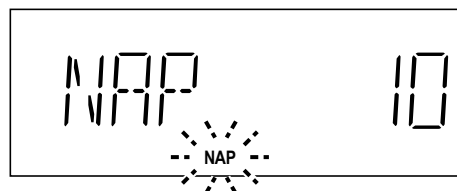
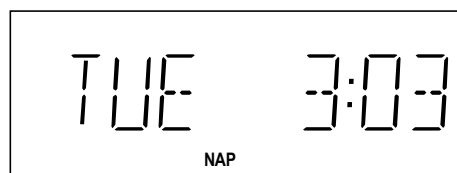
1. 目覚ましタイマーのアラーム音を週末（土、日）だけ解除するには、メインリモコンの**WEC**ボタンを押します。
   - このとき表示部に「WEC」が表示されます。
   - 設定している目覚ましタイマーが週末（土、日）だけ無効になります。

2. 目覚ましタイマーを再び有効にするには、メインリモコンの**WEC**ボタンをもう一度押します。
   - このとき表示部の「WEC」が消えます。

❑ タイマーの解除と設定

1. 目覚ましタイマーを完全に解除するには、待機状態でメインリモコンの**イントロ/リピート/⏻**ボタンを押します。
   - このとき表示部のアラーム表示「🔔または♫」が消えます。
   - タイマー解除されても、設定した目覚ましタイマーの内容は記憶されたままです。
2. 目覚ましタイマーを再び設定するには、メインリモコンの**イントロ/リピート/⏻**ボタンをもう一度押します。
   - このとき表示部にアラーム表示が表示されます。

アラームタイマー

❑ タイマーを設定する

1. アラームタイマーを設定するには、メインリモコンの**NAP**ボタンを押します。
   - このとき表示部に「NAP　10」が表示されます。

2. 続けてメインリモコンの**NAP**ボタンを何度か押し、アラームタイマーの時間（何分後にアラームを鳴らすか）を設定します。
   - 設定時間は10分単位で、10分～120分まで設定できます。
   - 時間を設定すると、表示部に「NAP」が表示されます。

   - 設定した時間になると、アラーム音が鳴り、表示部の「NAP」が点滅します。
   - 設定したアラームタイマーの残り時間を確認するには、メインリモコンの**NAP**ボタンを押すと残り時間を表示します。

❑ タイマーを一時停止する

1. アラームタイマーを一時停止するには、メインリモコンの**スヌーズ**ボタンを押します。
   - アラーム音が一時的に停止します。停止してから5分が過ぎると再びアラームが鳴ります。

❑ タイマーを停止する

1. アラームタイマーを停止するには、本機の**POWER ON/STANDBY**ボタンまたはリモコンの**電源**ボタンを押します。
   - アラーム音が停止します。

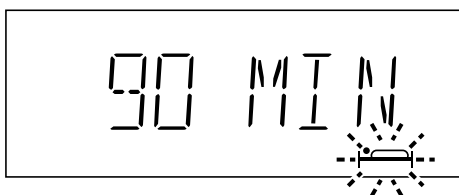
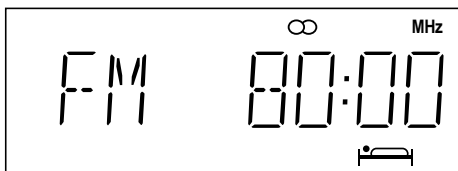
❑ アラームが鳴る前にタイマーを停止

1. アラームが鳴る前にタイマーを停止するには、メインリモコンの**NAP**ボタンを何度か押し、設定時間を「NAP 00」に設定します。

スリープタイマー

❑ タイマーを設定する

注意
- **スリープタイマーは、本機の電源が入っている状態で設定してください。**

1. スリープタイマーを設定するには、メインリモコンの**スリープ**ボタンを押します。
- このとき表示部に「90 MIN」と「 」が点滅します。

2. 続けてメインリモコンの**スリープ**ボタンを何度か押し、スリープタイマーの時間（何分後に電源を切るか）を設定します。
- 設定時間は10分単位で、90分〜10分まで設定できます。
- 時間を設定すると、2秒後に「 」が点灯されスリープタイマー動作になります。

- 設定した時間になると、本機は待機状態になります。
- 設定したスリープタイマーの残り時間を確認するには、メインリモコンの**スリープ**ボタンを押すと残り時間を表示します。

❑ 待機状態になる前にタイマーを解除

1. 待機状態になる前にスリープタイマーを解除するには、本機の**POWER ON/STANDBY**ボタンまたはリモコンの**電源**ボタンを押して、待機状態にします。
または、本機またはメインリモコンの**スリープ**ボタンを何度か押し、設定時間を「00 MIN」に設定します。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障と思われていることがあります。下記の項目をチェックして直らない場合は、お買い上げになった販売店、お近くの株式会社マランツコンシューマー マーケティング、または当社サービスセンターにご相談ください。

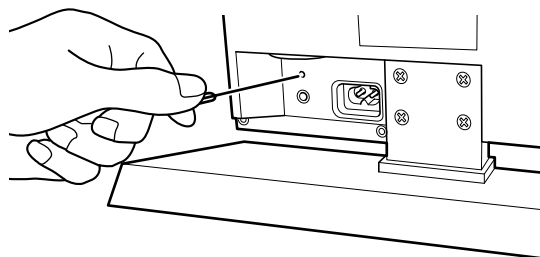
症状	原因	処置
電源が入らない。	• 電源プラグが完全に差し込まれていない。	• 電源プラグを完全に差し込んでください。
音楽CDが再生できない。	• ディスクの裏表が逆さまに入っている。 • ディスクが汚れている。 • ディスクが反ったり、傷がついている。 • ディスクが完全に差し込まれていない。	• ディスクレーベル面を上にして入れてください。 • ディスクをクリーニングしてください。 • 再生できるディスクを入れてください。 • ディスクを奥まで差し込んでください。
CD-R、CD-RWが再生できない。	• ディスクにデータを書き込むソフトウェアに問題がある。 • 書き込んだディスク自体に問題がある。	• データを書き込むソフトウェアのコンポーネントを点検してください。 • 新しいディスクに書き込み直してください。
USBメモリーが再生できない。	• 拡張子がMP3またはWMAになっていない。 • 変換したフォーマットがMP3またはWMAになっていない。 • USBメモリーが故障している。	• 拡張子の変更をして、再度書き込み直してください。 • MP3またはWMAに変換してください。 • 別のUSBメモリーを使用してください。
音が出ない。	• 音量設定が最小になっている。 • ヘッドフォンが接続されている。 • 消音状態になっている。 • 一時停止状態になっている。 外部入力状態（AUX）のとき • 外部機器との接続が間違っている。 • 外部機器の電源が入っていない。	• 適切な音量まで上げてください。 • ヘッドフォンの接続を外してください。 • 消音を解除してください。 • ▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押し、再生してください。 • 再度確認し正しく接続し直してください。 • 外部機器の電源を入れてください。
音飛びがする。	• ディスクが反ったり、傷がついている。 • 振動や衝撃の影響がある場所に本機を置いている。 • ディスクが汚れたり、傷がついている。	• 再生できるディスクを入れてください。 • 安定した場所に本機を置いてください。 • ディスクをクリーニングするか、再生できるディスクに入れ替えてください。
リモコンが効かない。	• リモコンの電池が切れている。 • リモコンの動作範囲から外れている。	• 新しい電池に入れ替えてください。 • リモコンを本機に向けて操作してください。
ヘッドフォンまたは外部入力（AUX）で再生しない。	• ヘッドフォン端子とAUX端子を差し違えている。	• 再度、端子を確認して接続し直してください。
ラジオの受信状態が悪い。	• 受信電波が弱い位置に設置している。 • FMステレオ放送の受信が弱い。 • テレビ、ビデオデッキ、コンピューター、ネオンライト、サーモスタット、モータなど電気機器による電波干渉。	• アンテナの配置を変更してください。 • 本機の受信をモノラルに切り替えてください。 • これらの機器から離しところで使用してください。
操作ボタンを押しても本機が動かない。	• 静電気などの影響で誤動作している。	• 本機の電源を切り、数分してから再度電源を入れてください。または本機をリセットしてください。

❑ 本機のリセット方法

本機をリセットすると、設定した時計、タイマー、記憶した放送局の全てが消去されます。
リセットすることで、本機は工場出荷の状態に戻ります。

1. 本機の電源を入れた状態にします。

2. ペーパークリップなどを使い、本機の後面にあるリセットボタンを押します。

仕様

アンプ部

❑ 出力

- 正弦波出力..2 x 4 W（L・R出力）
  ....1 x 7W（ウーファー出力）
- ミュージックパワー ....2 x 6 W（L・R出力）
  ....1 x 11 W（ウーファー出力）
- 入力感度/インピーダンス................Aux 400 mV/22kΩ

❑ ヘッドホン出力

- 正弦波出力..2 x 3 mW（32Ω）

チューナー部

❑ 受信範囲

- FM..76～107.8 MHz
- AM ....522～1629 kHz

CD部

- 周波数レスポンス ....20 Hz～20 kHz
- S/N比 ....(wtd.) > 70dB
- オーバーサンプリング...8 倍

システム部

❑ 電源

- 動作電圧...AC 100 V、50/60 Hz
- 定格消費電力...35 W
- 待機状態の消費電力（ディスプレイオフ)................1 W

❑ 寸法と重量

- 寸法...................298×320×185mm（幅x高さx奥行き）
- 重量...5.3 kg

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

お手入れについて

本機が汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍にうすめ、柔らかい布に浸し、固く絞って汚れをふき取り、後に乾いた布でからぶきしてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装が剥げたり、光沢が失われることがありますから、絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗装がはげたりすることがありますのでご注意ください。

保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
保証書は「販売店・お買い上げ日」をご確認の上、販売店からお受けとりいただき、よくお読みの上、大切に保管してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
正常なご使用状態で、この期間内に万一故障した場合には、お買い上げ販売店、または当社営業所で保証書記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の当社営業所にご遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度「故障かな？と思ったときは」をご参照の上よくお調べください。

ご連絡いただきたい内容
1）品　名　　パーソナルCDシステム
2）品　番　　CR201
3）お買上げ日　年　月　日
4）故障の状況（できるだけ具体的に）
5）ご住所
6）お名前
7）電話番号

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9：30－12：00　13：00－17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

株式会社マランツコンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

http://www.marantz.jp

Printed in China　　09/2006　00M21CW851110　mzh-d